

2026年9月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社ラングロブ 上場取引所 東  
 コード番号 419A URL http://rungleobe.jp/  
 代表者 代表取締役社長 土居 信一  
 問合せ先責任者 常務取締役 田淵 及 (TEL) 078-451-1033  
 中間発行情報提出予定日 2026年6月29日 配当支払開始予定日 ー  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期中間期の連結業績(2025年10月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	4,980	—	237	—	223	—	157	—
2025年9月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 中間包括利益 2026年9月期中間期 157百万円( —%) 2025年9月期中間期 ー百万円( —%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	104.98	—
2025年9月期中間期	—	—

(注) 1. 当社は、2026年9月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため2025年9月期中間期の数値及び2025年9月期の対前年同中間期増減率については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式がないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	7,186	2,398	33.4
2025年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 2,398百万円 2025年9月期 ー百万円

(注) 当社は、2026年9月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため2025年9月期数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	0.00	0.00	0.00
2026年9月期	0.00	—	—
2026年9月期(予想)	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日~2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	11,556	—	469	—	441	—	303	—	202.44	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は2026年9月期中間期より連結決算に移行しております。詳細は、本日公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 当社は、2025年9月期においては、連結財務諸表を作成していないため対前期増減率を記載していません。

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 2社(社名) 株式会社ユーロモーター、株式会社ユーロステラ、除外 ー社(社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示(中間期) : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期中間期	1,500,000株	2025年9月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	—	2025年9月期	—
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年9月期中間期	1,500,000株	2025年9月期中間期	1,500,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信(添付資料)3ページの「1. 経営成績等の概況(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(連結範囲の変更に関する注記) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

当中間連結会計期間は中間連結財務諸表の作成初年度であるため、前中間連結会計期間との比較は記載しておりません。

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における経営成績の概況としまして、2025年秋以降中古車市場は地政学リスク、為替変動、金利上昇の影響で不安定な状況が続き、需要が読みづらい展開となりました。当社単体ベースでは2025年10月から2025年12月までは売上、利益ともに前年並みまたは微増でしたが、在庫台数や店舗数の増加に対しては伸び悩み、1台当たり利益の確保により収益性を維持する傾向が強まりました。

2026年に入り、地政学リスクや為替変動による相場下落の影響を受け、買い控えや市場停滞を招いた結果、販売台数及び売上が落ち込み、経営上の課題となりましたが、1台当たり利益を重視した方針に転換し、収益性の改善に取り組みました。しかし当社単体ベースでは売上、利益ともに前年を下回る結果となりました。

また、Stellantisブランドにおける新車に関しましても、小売販売価格の上昇に加え2026年4月から自動車税環境性能割が廃止になることによる買い控えを招いており、収益性が低下しております。

当社グループでは、収益性の改善に向けて、在庫回転率の向上、早期販売の推進、相場動向を踏まえた仕入・価格調整、商品車構成における軽自動車比率の見直し、ならびに長期在庫の削減に取り組んでおります。

中古車業界におきましては、2025年10月から2026年3月までの国内中古車登録台数は3,342千台(前年同期比0.3%減)となり、前年を下回る結果となりました。

車種別では、普通自動車登録台数が1,602千台(前年同期比1.5%減)となった一方、軽自動車の登録台数は1,502千台(前年同期比0.8%増)となりました。(出典:一般社団法人日本自動車販売連合会統計データ・一般社団法人全国軽自動車協会連合会統計データ)

一方で、中古車販売業界においては、過去に法令遵守や内部管理体制に関する問題が発生しており、業界全体としてコンプライアンス体制の重要性が高まっております。

当社におきましては、現時点において法令違反に該当する不適切な事案は確認しておりませんが、引き続き経営管理体制およびガバナンス体制の強化に取り組んでまいります。

出店状況に関しては、子会社として2025年12月に株式会社ユーロモーターおよび株式会社ユーロステラを設立し、2026年1月にユーロモーター株式会社および株式会社ユーロスポルティフより吸収分割による事業承継を受けております。

株式会社ユーロモーターはプジョー、シトロエンの新車販売を行っており、「プジョー大阪中央」「プジョー茨木」「シトロエン枚方」が新たな店舗として加わっております。

また、株式会社ユーロステラは輸入車部品の卸売業を行っております。

これにより、中古車販売店舗は関西5店舗、東海1店舗、四国1店舗となり、店舗数は7店舗となりました。

また、新車販売店舗は関西5店舗(バイク販売店舗含む)、四国1店舗、関東1店舗となり、店舗数は7店舗となりました。

上記の結果、売上高は4,980,862千円、営業利益は237,800千円、経常利益は223,533千円、親会社株主に帰属する中間純利益は157,468千円となりました。

なお、当社グループは自動車販売及びその附帯業務の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は3,461,331千円となりました。主な内訳は、現金及び預金519,994千円、商品2,445,460千円、売掛金141,416千円であります。

#### (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は3,725,354千円となりました。主な内訳は、建物992,714千円、土地1,863,919千円、長期貸付金306,610千円、関係会社長期貸付金80,524千円であります。

#### (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は2,815,068千円となりました。主な内訳は、短期借入金1,689,118千円、1年内返済予定の長期借入金430,149千円、前受金260,904千円であります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は1,972,939千円となりました。主な内訳は、長期借入金1,939,241千円であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、親会社株主に帰属する中間純利益157,468千円の計上により2,398,678千円となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、519,994千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は137,997千円となりました。これは主として、税金等調整前中間純利益235,643千円、減価償却費61,810千円、棚卸資産の増加額290,183千円、未払金の増加額120,773千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は334,830千円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出139,884千円、事業譲受による支出273,268千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は543,296千円となりました。これは主として、短期借入金の純増加額318,236千円、長期借入による収入400,000千円、長期借入金の返済による支出168,070千円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2026年9月期中間決算より連結決算に移行しております。

2026年9月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (2026年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	519,994
売掛金	141,416
商品	2,445,460
貯蔵品	42,323
前渡金	59,913
未収入金	84,342
短期貸付金	63,231
その他	104,647
流動資産合計	3,461,331
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	992,714
土地	1,863,919
その他（純額）	289,198
有形固定資産合計	3,145,832
無形固定資産	
ソフトウェア	16,785
のれん	22,948
無形固定資産合計	39,733
投資その他の資産	
関係会社株式	50,000
長期貸付金	306,610
関係会社長期貸付金	80,524
繰延税金資産	7,056
その他	95,597
投資その他の資産合計	539,788
固定資産合計	3,725,354
資産合計	7,186,686

(単位：千円)

当中間連結会計期間  
(2026年3月31日)

負債の部

流動負債

買掛金	61,552
短期借入金	1,689,118
1年内返済予定の長期借入金	430,149
リース債務	271
未払金	263,082
未払費用	9,983
未払法人税等	78,143
前受金	260,904
賞与引当金	389
その他	21,474
流動負債合計	2,815,068

固定負債

長期借入金	1,939,241
リース債務	2,628
資産除去債務	14,676
繰延税金負債	6,392
その他	10,000
固定負債合計	1,972,939

負債合計

4,788,007

純資産の部

株主資本

資本金	50,000
利益剰余金	2,348,678
株主資本合計	2,398,678

純資産合計

2,398,678

負債純資産合計

7,186,686

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	4,980,862
売上原価	4,168,688
売上総利益	812,174
販売費及び一般管理費	574,374
営業利益	237,800
営業外収益	
受取利息	2,237
雑収入	5,607
営業外収益合計	7,845
営業外費用	
支払利息	22,112
営業外費用合計	22,112
経常利益	223,533
特別利益	
負ののれん発生益	12,110
特別利益合計	12,110
税金等調整前中間純利益	235,643
法人税等合計	78,175
中間純利益	157,468
親会社株主に帰属する中間純利益	157,468

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

当中間連結会計期間  
(自 2025年10月1日  
至 2026年3月31日)

中間純利益	157,468
中間包括利益	157,468
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	157,468

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	235,643
減価償却費	61,810
のれん償却額	3,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△332
受取利息及び受取配当金	△2,237
支払利息	22,112
負ののれん発生益	△12,110
売上債権の増減額(△は増加)	△52,527
未収入金の増減額(△は増加)	△34,559
未収消費税等の増減額(△は増加)	△23,187
棚卸資産の増減額(△は増加)	△290,183
前渡金の増減額(△は増加)	△38,066
仕入債務の増減額(△は減少)	△69,290
未払金の増減額(△は減少)	120,773
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,756
その他流動資産の増減額(△は増加)	△22,401
その他流動負債の増減額(△は減少)	22,155
その他	73
小計	△90,084
利息及び配当金の受取額	2,237
利息の支払額	△22,865
法人税等の支払額	△27,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	△137,997
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△139,884
有形固定資産の売却による収入	313
無形固定資産の取得による支出	△2,487
貸付けによる支出	△8,517
長期貸付金の回収による収入	82,745
関係会社貸付金の回収による収入	7,551
事業譲受による支出	△273,268
その他	△1,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△334,830

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	318,236
長期借入による収入	400,000
長期借入金の返済による支出	△168,070
その他の支出	△6,869
財務活動によるキャッシュ・フロー	543,296
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	70,469
現金及び現金同等物の期首残高	449,525
現金及び現金同等物の中間期末残高	519,994

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(連結範囲の変更に関する注記)

当中間連結会計期間において、株式会社ユーロモーター、株式会社ユーロステラを新たに設立したため、連結範囲に含めております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。